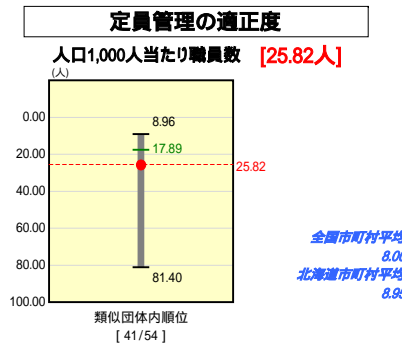
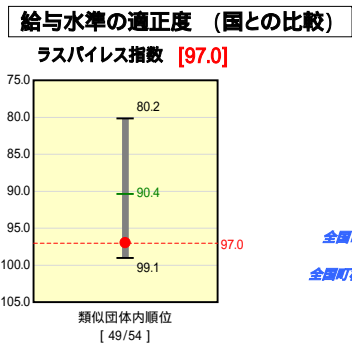
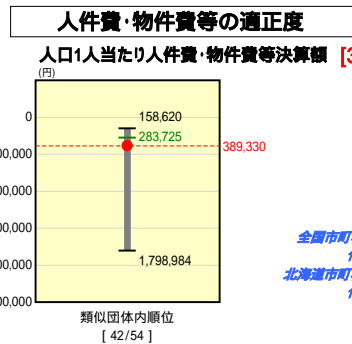
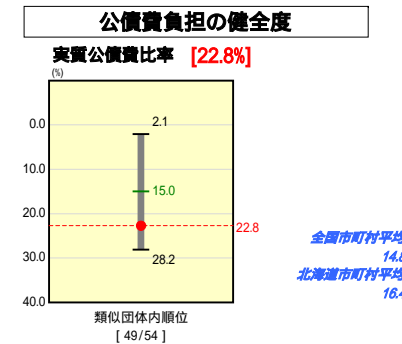
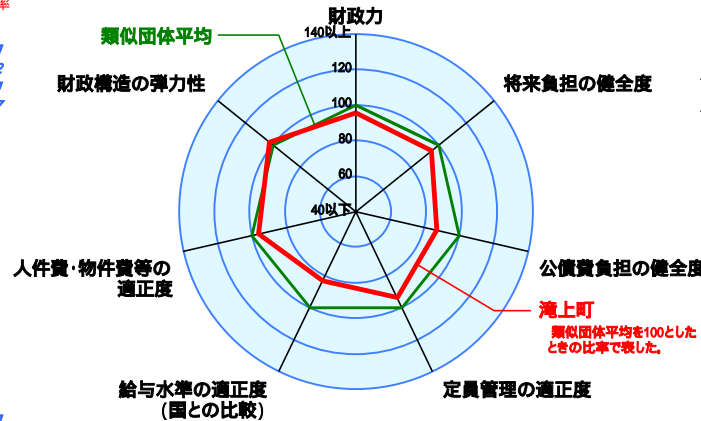
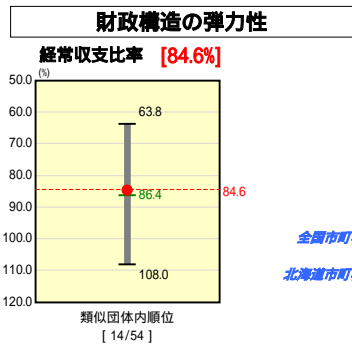
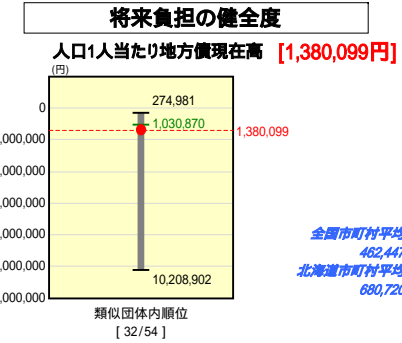
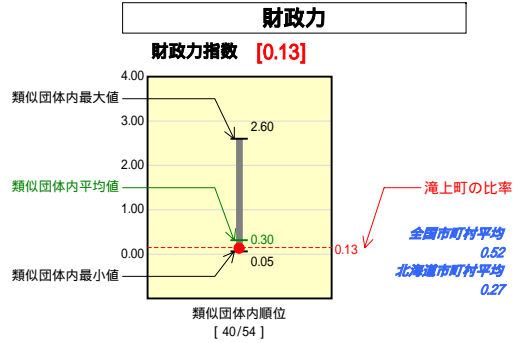


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 滝上町

人口	3,408	人(H18.3.31現在)
面積	766.89	km ²
歳入総額	3,869,412	千円
歳出総額	3,745,924	千円
実質収支	123,488	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成17年度末35.6%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っています。このため、行財政改革実施計画及び集中改革プランに基づき、退職者不補充等による人件費の削減に加え、職員給与カットの独自削減を行い、また緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制するとともに、公共施設の有料化、補助金・施設維持費の削減等、徹底的な見直しと施策の重点化の両立に努め、財政の健全化を図ります。

経常収支比率：比率は、類似団体平均を下回っているものの近年上昇傾向にあるため、義務的経費の一層の削減に努め、現在の水準の維持を図ります。

実質公債費比率：比率は類似団体平均をかなり上回っていますが、これは、債務負担行為に係るものうち、国営総合農地開発事業の償還に係る返済金、下水道建設事業に係る下水道会計への繰出金が主な要因となっています。しかし、既に公債費償還のピークを過ぎていることに加え、平成19年度には下水道建設事業が終了することから、平成20年度以降からは、年々その比率は減少し、試算では平成24年度には実質公債費比率が18%以下となります。

人口1人当たり地方債現在高：過去の大規模な観光施設整備等により、類似団体平均を上回っていますが、今後は大規模事業の縮減等、新規地方債の発行の抑制に努め、類似団体平均を目指します。

ラスパイルズ指数：町独自での職員給与削減を平成16年度から実施してきていますが、類似団体の中では高い水準となっています。このため、今後は国の給与体系に準拠し、加えて各種手当の総点検を行うなど、一層の給与の適正化に努めます。

人口1,000人当たり職員数：定員管理適正化計画に基づき、退職に伴う不補充等による定員管理の適正化を図ってきていますが、依然として類似団体平均を大きく上回っているため、今後3年間で18人の退職予定に対し、新規採用を年間1人に止めることとし、人員削減による行政サービスの低下につながらないように、職員の適正配置や機能的な体制づくりにも努めます。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に人件費を要因としているため、事務事業の見直しや退職不補充等による人件費抑制に努めます。また、物件費においても既存施設の設置見直しやコスト管理の徹底化を図ることにより、一層の削減に努めます。